

2013年10月28日

報道関係各位

～宮崎県美郷町の太陽光発電所に関するプレスリリース～

『廃校になった小学校を丸ごと使った

“エネルギーの地産地消型”太陽光発電所が完成しました。』

と竣工式の取材のお願いについて

○概要

2年前に廃校となった宮崎県的美郷町（みさとちょう）の旧水清谷小学校を利用した太陽光発電所がこのほど完成し、10月31日に竣工式が行われます。

太陽光パネルは、校庭だけではなく、残された校舎の屋上やベランダ、大小のプールにも敷き詰められました。これまで、廃校となった学校の跡地を使った例は他にもありましたが、校舎の屋上やプールなど学校の施設を丸ごと使った太陽光発電所は大変珍しく、全国でも例がないと思われま

す。発電能力はおよそ370kWで、年間41万kWh、およそ110世帯の電力をまかなうことができる計算です。

発電した電力は、PPS（特定規模電気事業者）の㈱エヌパワーに売電されます。PPSは、購入した電力を、地元的美郷町の施設へ通常より10%近く安い料金で販売する予定で、まさしく『エネルギーの地産地消』が行われます。

また、施設のメンテナンスは、地元の自治会と契約を結んで地域で行うことも決まっています。年末か年始には送電が始まる予定です。

町内にある他の廃校では、先日、ウナギ博物館がオープンしたばかりです。菊池町長は、この旧水清谷小学校町の校舎をどのように利用するか考えていきたいとしています。現在、野菜工場にする案があったり、東京の建築家たちが利用方法を検討していたりと様々な検討が進められています。

竣工式には、美郷町の菊田彦市町長などの自治体関係者なども参列します。

○竣工式

- ・日時：10月31日（木） 午前10時～12時
- ・場所：宮崎県東臼杵郡美郷町南郷区水清谷（旧水清谷小学校跡地）
*太陽光発電所にて
- ・式次第：
 - 関係者挨拶（美郷町菊田町長など）
 - テープカット
 - 太陽光発電所の見学

○詳細データ

- ・太陽光発電所の設置場所：
宮崎県東臼杵郡美郷町南郷区水清谷（旧水清谷小学校跡地）
- ・旧水清谷小学校： 開校：明治5年 閉校：平成23年3月末
- ・太陽光発電設備： 発電出力：367.2kW
校庭 241.2kW、校舎の屋上 48kW、ベランダ 36kW
プール 42kW
- ・年間発電予測量： 約412.42kwh/年
- ・太陽光パネル： ドイツ、ソーラーワールド製 960枚
中国、フォノソーラ製 192枚
- ・総工費： およそ12,000万円
- ・太陽光発電所の施主： 有限会社 巴企画（代表取締役 土肥 幸子）
*東京都の再生可能エネルギーの発電事業を展開する会社
- ・買電を行うPPS（特定電気事業者）：
株式会社 エヌパワー（代表取締役社長 中山 貴啓）
愛知県清須市西枇杷島町宮前1丁目1番地
URL：<http://www.npower.jp/>
- ・メンテナンス： 地縁団体水清谷自治会（代表者 末永 敏幸）
- ・工事： 工事開始日：9月10日
工事完了日：10月14日
送電開始予定日：12月もしくは来年1月
- ・宮崎県美郷町： 人口5,863人

○お問い合わせ先

広報担当：

株式会社エヌパワー 中山

電話 052-501-0886

FAX 052-501-0881

E-mail：t.nakayama@npower.jp

*同封した写真（完成した発電所）のデータが必要な方は、お送りします。
広報担当中山までご連絡ください。

プレスリリースの発行責任：

日本再生可能エネルギー総合研究所 北村

電話 090-1045-9837

E-mail：kitamura@jrri.jp

<http://www.jrri.jp/>

以上